

デザイン：Oliver Freudenreich

ゲームのアイデア

順番に手持ちのカードを場に出して、場の数と出したカードの数字を合計します。合計が“ゾロ目”や「77」を超えてしまうとチップを1枚失います。スペシャルカードをうまく使いながらゲームを進めましょう。全てのチップを失うとゲームから退きます。最後まで残ったプレイヤーがゲームの勝者です。

セット内容

カード55枚・チップ24枚



『76』・『ゾロ目』
(11, 22, 33, 44, 55, 66) : 各1枚



『0』・『-10』・『2連続』・『方向転換』
各4枚



『2』～『9』: 各3枚



『10』: 8枚



チップ: 24枚

ゲームの準備

カードを裏向きでよく混ぜ各プレイヤーに5枚ずつとチップを3枚ずつ配ります。残りは山札として机の中央に置きます。

遊び方

暗算が一番得意なプレイヤーからスタートし、その後は時計回りの順番でカードを出していきます。順番が来たら次の3つの手順に従いましょう。

1. 「カードを場に出す」 手札から1枚選び表向きで場札の山に置きます。
2. 「数字を言う」 場の数と新しく自分が出したカードの数字との合計を声に出して言います。最初は場札が無いので、出したカードの数字を言います。
3. 「カードを補充する」 山札から1枚手札に補充し、常に5枚にします。もし取り忘れた場合は後から補充することはできず、4枚、3枚と少ない枚数で勝負しなければならないなくなり、不利になります。



プレイヤーAは『5』カードを出して、「5」と大きな声で言いました。
続いてプレイヤーBは『10』カードを出して、「15」と大きな声で言いました。

『-10』カードは、場の数から10を引きます。
場合によっては場の数がマイナスの数になることもあります。

山札が無くなれば、一番上のカード以外を裏向きでよく混ぜ新しい山札を作ります。

スペシャルカード

スペシャルカードには数字は描かれていません。場の数をそのままもう一度言います。タイミングを見ながら、うまく使いましょう。

『方向転換』カードは順番が逆回りになります。このカードが出るたびにカードを出す順番の方向が変わります。

『2連続』カードは次のプレイヤーが2枚出さなければならないカードです。次のプレイヤーはその時に『2連続』カードを出すことはできません。1枚ずつ合計を言いながら、連続で2枚出します。その後山札から2枚補充します。



時計回りなので、次の順番のプレイヤーCが『3』カードを出して、「18」と言いました。
続いてプレイヤーAが『2連続』カードを出して、そのまま「18」と言いました。
『2連続』カードを出された次のプレイヤーBは連続で2枚出さなければなりません。



プレイヤーBは最初の1枚目は『方向転換』カードを出して、そのまま「18」と言いました。続いて2枚目に『10』カードを出し、「28」と大きな声で言いました。順番の方向が変わったので、次は再びプレイヤーAの順番になります。

“ゾロ目” になったり「77」 超えてしまったら

合計数が“ゾロ目”(11, 22, ..., 77)や「77」を超えてしまったらチップを1枚失います。“ゾロ目”の後にスペシャルカードを出すと、同じ数字を言わなければならないので、同様にチップを1枚失います。



プレイヤーAは『11』カードを出して、「39」と言いました。プレイヤーCは『44, 66, 76』のどれを出しても「77」を超えてしまうので、『5』カードを出して、「44」と大きな声で言いました。合計数が“ゾロ目”になってしまったので残念ながらチップを1枚失ってしまいました。続いてプレイヤーBの順番となります。

最後のチップを失ってもゲームを続ける事はできますが、もう一度チップが必要になった時点でゲームから退きます。残りのプレイヤーでゲームは続けます。

ラウンドの終了

一人のプレイヤーが「77」以上の数字を言った時点で、そのプレイヤーはチップを1枚失うと同時にそのラウンドは終了となります。まだ残っているプレイヤーの内の一人が、全てのカードを裏向きでよく混ぜ、残っている各プレイヤーに5枚ずつ配り、次のラウンドを始めます。スタートするプレイヤーはラウンド毎に時計回りに交代します。

ゲームの終了

最後のひとりになるまで続け、残ったプレイヤーがゲームの勝者です。